

事業所

からふる

支援プログラム

作成目

2025 年

12月

8

法人（事業所）理念	私たち利用者様一人一人が思い描く将来へ近づくための支援を通じて共生社会の実現を目指します。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 個々の尊重…経験や視野を広げる関りを軸にすることで、将来の選択肢を増やしていくよう支援します。また、目標達成に必要な力を身につけられるよう支援します。 物事に対する価値観や気づきの機会作り…一人一人が「何を感じて」「どう考え」「行動したのか」を大切にすることで、主体性を尊重した支援を行います。 						
営業時間	平日 9時45分から18時45分まで	休日 8時15分から17時00分まで					
サービス提供時間	平日 10時45分から17時45分まで	休日 9時00分から16時15分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支援内容							
本人支援	①健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 正しい手洗いやトイレなどの使用方法を学ぶ。 物事の準備や整理、管理など身の回りへの意識づくりを行う。 園芸活動を通じて、食に関する知識や健全な食生活を実践できる力を育む。 					
	②運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 筋力向上や体幹、平衡感覚を培う運動遊びの実施。 姿勢保持やエネルギー配分の感覚を身につける運動遊びの実施。 体の部位や使い方を学ぶリズムゲーム等の実施。 					
	③認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 見通しボード等を用いることで、スケジュール管理能力の向上を目指した取り組みを実施。 絵カードやアラーム機能付きタイマー等、視覚、聴覚的な要素を活用することで、時間や数の認知能力、理解力の向上を目指す。 調理活動を通じて、切る、剥く、混ぜる、材料の大小、数など、総合的な理解、認知力の向上を促す。 					
	④言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵カード、文字、言葉など個々に応じたツールを用いて、意思表示や人と関わる力を身につける。 日常の物事や事象に言葉または個々に応じたツールで意味や名称を添え伝えていくことで意味合わせを行い、表現方法の幅を広げる。 意見や感想を他者に伝えられる場を用意し、承認される経験を積む。 					
	⑤人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 発達に応じて小集団でのソーシャルスキルトレーニングを行い、様々な意見が聴ける機会を作る。 挨拶や敬語の使い方、助けの求め方、断り方など、場に合わせた立ち振る舞いを学ぶ。 鬼ごっこなどルールのある遊びを通じて人との関わり方や、関係構築の力を育む。 					
家族支援		・療育相談…保護者の子育てや療育、家庭の状況などにおける悩みや困り感に対し、要望があれば随時事前に取り決めた時間、場所にて面談を行う。 ・日々の送迎時等に保護者の方へ児童の様子を伝えるなど情報共有を行う。	移行支援	児童本人並びにそのご家族の意向を聞き取り、必要に応じて学校等関係機関と連携し、目標や目的の達成に向けた支援を実施する。			
地域支援・地域連携		・買い物学習…近隣の商店にて買い物体験をするなど地域交流の機会を設けるとともに、地域の障がいに対する認知度を高められるようにする。 ・地域の消防署に依頼して防災体験をさせていただくなど、日常的に交流を持つことで、当事業所だけでなく地域全体で支えられる環境づくりに取り組む。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 0JTの実施 職員定例会議の実施（毎月） 支援会議（適宜） 専門的支援等知識向上に関する研修の充実、促進、資格取得支援 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節のイベント…お花見、七夕、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣など 定期実施、長期休暇期間など…工場見学、公共交通機関の乗車体験、自然や動物とのふれあい体験、園芸活動、プール、BBQ、体験学習、音楽活動、調理実習など 					